

# 北海道勤医協 地域枠医師のための 総合医・家庭医後期研修プログラム

北海道勤医協総合診療・家庭医療・医学教育センター  
(General Practice and Medical Education Center, Hokkaido Kin-ikyo : GPMEC)

## I. 北海道地域枠の義務年限を利用しながら、4年間で無理なく家庭医療専門医を取得できます

### ◆ 黒松内町立診療所を中心としたプログラム

- 2016年度から有床診療所として黒松内町立診療所(仮称)がスタートし、北海道勤医協が指定管理者となる
- 町や地域住民の方と連携して、GPMECの指導医10名スタッフ22名の全面的なバックアップのもと、倶知安厚生病院総合診療科との連携で後期研修医の学びをサポート

### ◆ 北海道地域枠の義務年限に対応

- 北海道地域枠の義務年限を利用しながら、4年間という期間でより濃厚にしっかりと学ぶことができるプログラム
- 日本プライマリ・ケア連合学会認定家庭医療後期研修プログラムVer2に準拠
- 家庭医療専門医が取得できるプログラム

## II. 研修施設群： 黒松内診療所、倶知安厚生病院、勤医協中央病院、勤医協札幌病院

### ◆ 総合診療研修 I 黒松内診療所

- 小児から高齢者まで、入院、外来、訪問診療まで幅広い診療と毎日の振り返り
- 地域コミュニティケア、地域視診に基づいたコミュニティアプローチ
- 北海道勤医協総合診療・家庭医療・医学教育センターのネット・カンファレンスによる研修
- 後期研修1年または2年目と3年目(計2年間)
- 指導医 寺田 豊

### ◆ 総合診療研修 II・内科研修 倶知安厚生病院

- 総合診療科の指導医のもと後志地域の二次医療の研修
- 後期研修1年目または2年目(1年間)
- 指導医 木佐健悟

### ◆ 小児科研修・選択研修 勤医協札幌病院

- プライマリケアの小児科研修に最適な規模で研修が可能 指導医 岡田 靖(3ヶ月)
- 選択すれば、亜急性期、回復期の病棟研修、慢性期フォローも含めた内科外来研修で、亜急性期・慢性期の総合力をつけることができる 指導医 尾形和泰、佐藤健太

### ◆ 救急研修・選択研修 勤医協中央病院

- 年間7400台の救急車受け入れ件数 救急科指導医 田口 大(3ヶ月)
- 領域別専門内科や緩和ケア、整形外科、外科、放射線や検査部門などでの選択研修が可能
- 総合診療科指導医 臺野 巧、松浦 武志、川口 篤也



### 二木会

- 月一度の振り返り & 学習(二木会)
- 後期研修医・指導医が一同に会する
- 振り返りや学習企画を行う。

## III. 研修・学びサポートと「くろまつない地域医療ビレッジ構想」

- 月1回の学習会(二木会)で、同僚や指導医と事例を振り返って(reflection)、それを次に活かす  
→significant event analysis(SEA)
- 二木会では、家庭医療の核となる概念を理解するためのレクチャー&ワークショップ、common diseaseの学習を行っている

### ◆ 「くろまつない地域医療ビレッジ構想」

- 研究ビレッジ  
✓ 黒松内全町をフィールドとして医療研究のメッカに
- メディカルビレッジ  
✓ 黒松内全域を対象とした包括的ケアシステム  
✓ 勤医協中央病院と連携して、プライマリ・ケアと専門医療の連携
- 教育ビレッジ  
✓ 札幌医科大学・勤医協中央病院と連携し、地域医療教育のメッカに



お問い合わせ先: 勤医協中央病院 医局 山田・豊島

電話: 011-782-9111(代表)

住所: 北海道札幌市東区東苗穂5条1丁目9-1

E-mail: ikyoku-j@kin-ikyo-chuo.jp

[http://www.kin-ikyo-chuo.jp/for\\_medical/education/senior/program\\_family\\_practice.html](http://www.kin-ikyo-chuo.jp/for_medical/education/senior/program_family_practice.html)